

漁業者と連携した漁場環境の再生活動

〈琵琶湖漁業再生ステップアップ〉プロジェクト

事業費：36,087 千円遅延(国費 84,202 千円)

※本事業は水産庁事業の漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業および

～事業の背景～

これまでの様々な取り組みにより、ニゴロブナをはじめとするいくつかの魚種では少しずつですが漁獲が回復する兆しがみられます。今後、多くの魚種について一層の資源量・漁獲量回復を目指すには、琵琶湖の北湖および南湖（赤野井湾）、内湖、河川で総合的な対策が必要です。本事業では、漁業者が中心となって水草除去、外来魚駆除、ゴミ除去、種苗放流などを行うことによって、魚介類が生息・繁殖しやすい環境を取り戻し、琵琶湖漁業の漁獲量の増大を目指します。

～事業の内容～

（1）多面的機能発揮対策事業

- ・南湖（外来魚駆除、水草根こそぎ除去、耕うん、外来水生植物の駆除、環境保全型魚類（ゲンゴロウブナ）の放流 浮遊堆積ゴミの除去など）
- ・北湖・内湖（水草除去、湖底耕耘、漂着・堆積ゴミの除去、外来魚駆除、耕うん など）
- ・ヨシ帯（堆積ゴミの除去、競合植物の管理・除去 など）
- ・河川（河床耕耘、堆積ゴミ・流木等の除去、密漁監視 など）

（2）ニゴロブナ赤野井湾放流委託事業

- ・赤野井湾周辺水田へニゴロブナ仔魚 200 万尾の放流

～事業の実績～

- ・ニゴロブナ仔魚216万尾を赤野井湾周辺水田へ放流（R6）
- ・ニゴロブナ赤野井湾放流委託事業においては、ニゴロブナの生残率の向上がみられた

